



## ご挨拶

去る9月24日に堺市長選挙が投票され、現職が大阪維新の会の新人を破り、3選を果たした。8年前には維新の代表だった橋下氏が竹山氏を応援し当選させたが、ご当人は当選後に反旗を翻し反維新となった経緯がある。堺市民の多くはこのことをよく覚えていて、その人柄を批判する向きが多かったが、維新の候補者擁立が遅すぎたのも敗因の一つだろう。

それにしても、自民、共産、民進、社民等の「野合」に応援された現職と戦った維新は大したもの。野合の政党に応援された市長は、行財政改革など断行できないように思われる。今後4年、旧態然とした堺市の停滞が心配される。



大阪狭山維新の会

小原かずひろ

## 平成29年 9月議会

### 小原一浩の 質疑&応答(抜粋)

#### ①市の魅力発信及び発展事業の現状について

##### 【質問】 小原議員

平成27年末に華々しく打ち上げられた「大阪狭山市の魅力発信、発展に関する事業」は2年が経過した今、各事業の現状を伺う。

##### 【答弁】

##### グリーン水素シティ事業推進室長

大阪狭山市の魅力発信及び発展に関する事業は、平成27年度にプロジェクトチームが設置され、実践型地域雇用創造事業、ため池太陽光発電モデル事業や、水素発電事業等を定め、人材育成事業やグリーン水素シティ事業推進研究会の事業も進めることを試みるものだが、現在のところ大半が事業実施に至ってはいない。ため池太陽光発電モデル事業は、メルシー for SAYAMA株



株式会社(以下子会社という)が3カ所で太陽光発電事業を実施している。

水素発電等事業の研究会は平成28年11月15日に第3回目が開催されたが、その後、開催していない。

グリーン水素シティ事業については本年4月以降一旦立ちどまつて課題を整理し、対策を講じて解決に向けて取り組みを始めています。

##### 【意見】 小原議員

再確認をしたい。

\*実践型地域雇用推進事業は実施されず、人材養成事業も進んでいない。

\*ため池太陽光発電事業は、経済産業省の再生可能エネルギーの固定価格買取取り制度を活用し実施済だが、以下に示すように問題点が多い。

\*平成27年12月4日に市役所の

